

テーマ:「共生」 一人ひとりが役割意識と 責任感を持ち 活気あふれるフロアへ

特別養護老人ホーム あすなる園
山田 優香
カバクンガンラレン

発表で使用する写真については、すでに関係者の同意を得ています。

背景：取り組みのきっかけ

コロナ禍以降、特に余暇活動に対して鈍化している

ほんとうに“生活の場”として満ち足りているか？」

“職員” “ご利用者” にとって

「楽しみ」「つながり」を感じているか？

活動の目的

「メンバーの自発的な選択」が活動停滞を打破し、活性化につながるのかを検証

利用者満足度向上への寄与を測ること

現状の整理

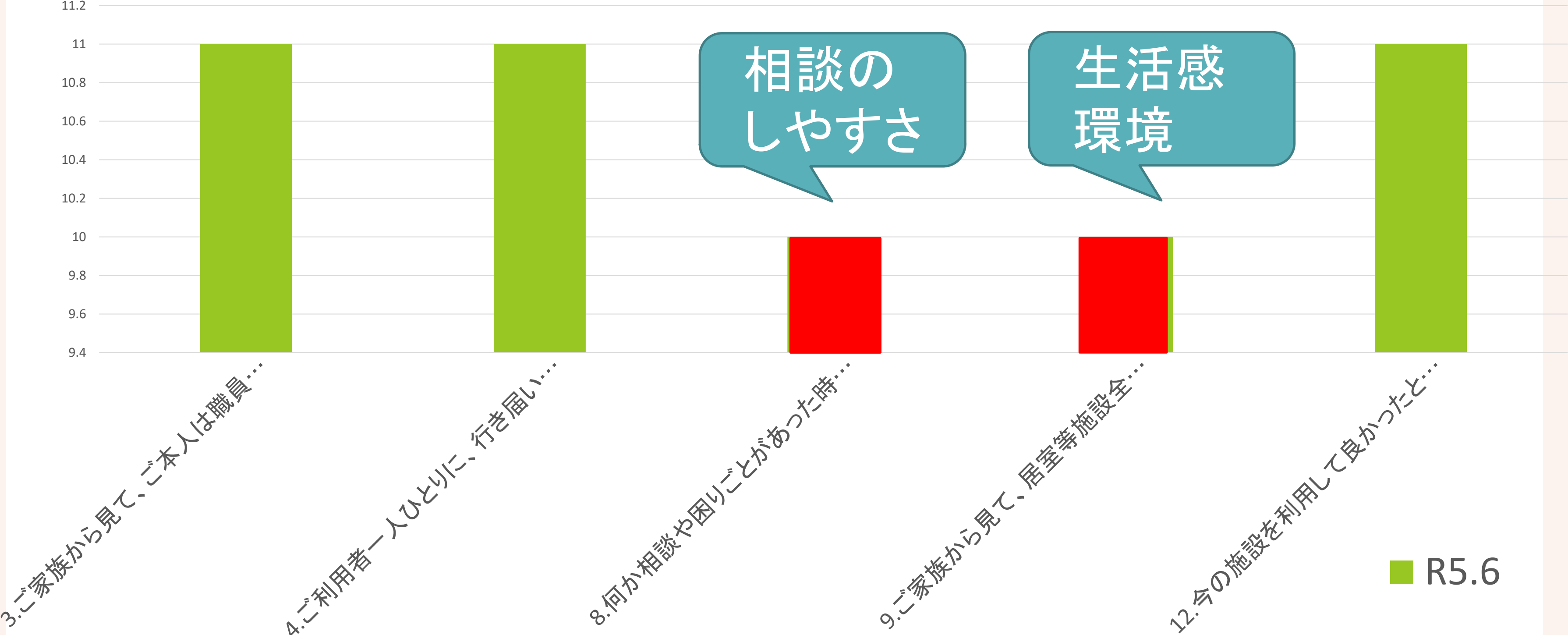
CSアンケートを分析（12項目から抜粋）

相談しやすさ、生活の場としての環境、職員の対応が主な焦点

フロア会議で職員の感じ方も確認

※職員に関してはフロア会議にて確認

令和5年6月CSアンケート



本取り 組み：活動選択型チームビルディング

コンセプト：メンバーが自ら希望する活動を選択し
主体的に取り組むことで、内発的動機付けを促す

活動内容

GARDENING 菜園

mural & Coloring book 壁画 塗り絵

BIRTHDAY PARTY 誕生日会

photo shoot 写真撮影

活動内容から第1希望から第3希望までの
アンケートに基づき、グループを編成

活動プロセスと役割

GARDENING 菜園

mural & Coloring book 壁画 塗り絵

BIRTHDAY PARTY 誕生会

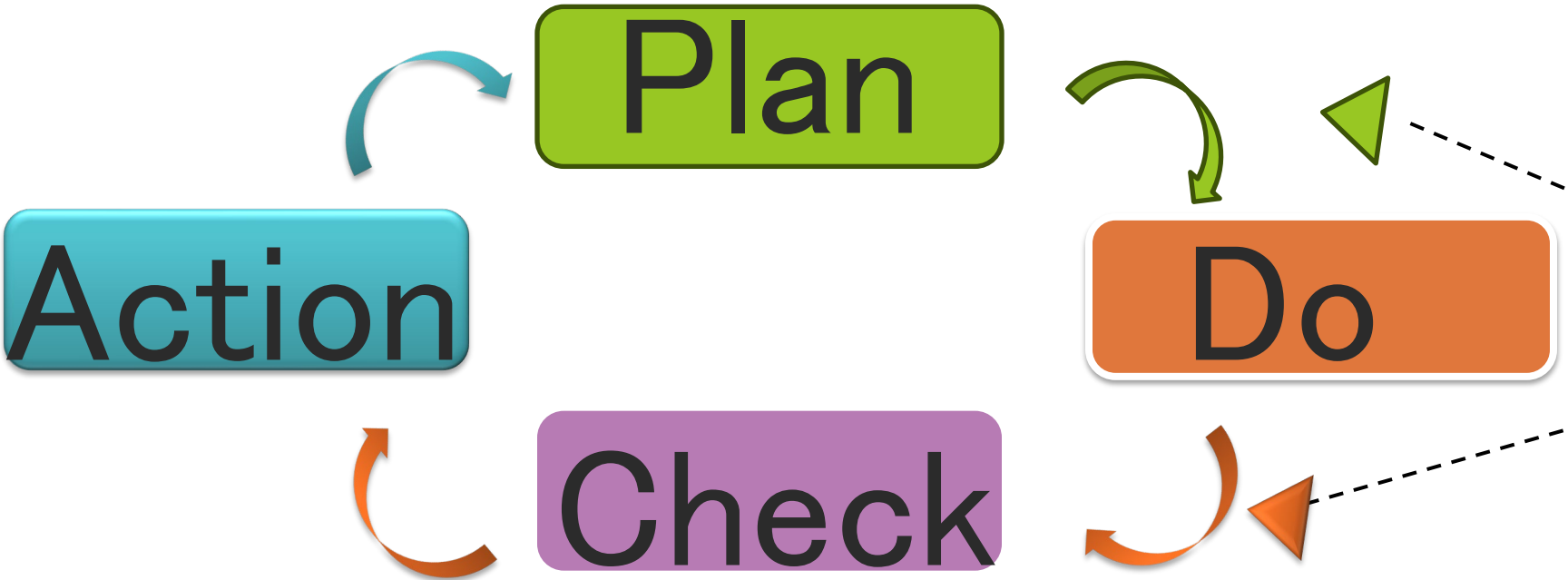
photo shoot 写真撮影

2人
5人
3人
2人

グループの
編成人員



メンバー



主任

介入は
最小限

介入の参考にした考え方

タイプ分け「CAPS」

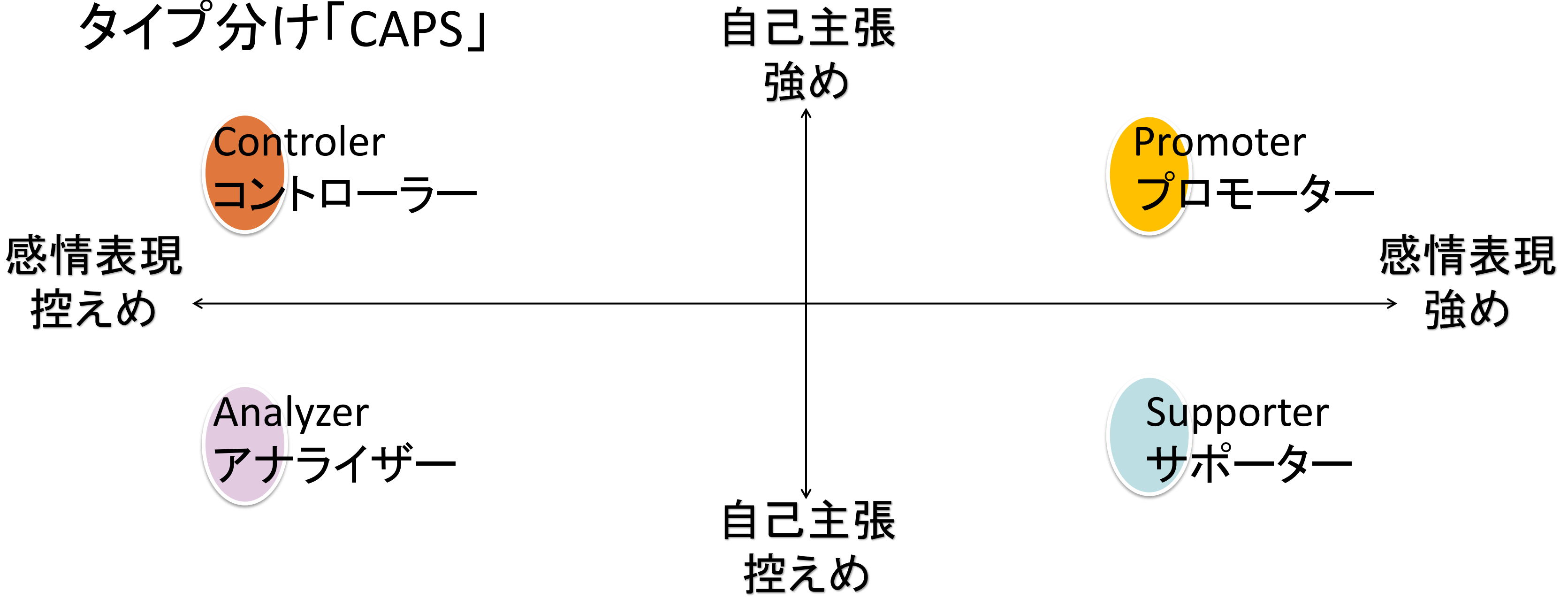


photo shoot 写真撮影

メンバー構成

PC 1人 A 1人

※PCが同点

- フォトスポット活用
- 写真を本人や家族に共有
- 居室の方の写真が増えた
- 職員・他利用者と一緒に撮った写真も増加 表情にこだわり

計画段階から
自発的に



GARDENING 菜園

メンバー構成

S 1人 P 1人

メンバー外から
サポートも

- ベランダで野菜や花を栽培



- 収穫した野菜の提供

- 冬季の工夫が今後の課題



mural & Coloring book

壁画 塗り絵

メンバー構成

A 1人 P 1人

C 2人 S 1人

※途中から配属

取り掛かるまでに
時間が掛かった

- 毎月のテーマで壁画を作成
- 季節を感じる共同作業



BIRTHDAY PARTY 誕生会

メンバー構成

S 1人 C 1人

P 1人

企画、アイデア
柔軟に対応

- メッセージ入り色紙の
プレゼントと記念撮影
- ご利用者の笑顔が
あふれる場に



職員の反応も前向き！

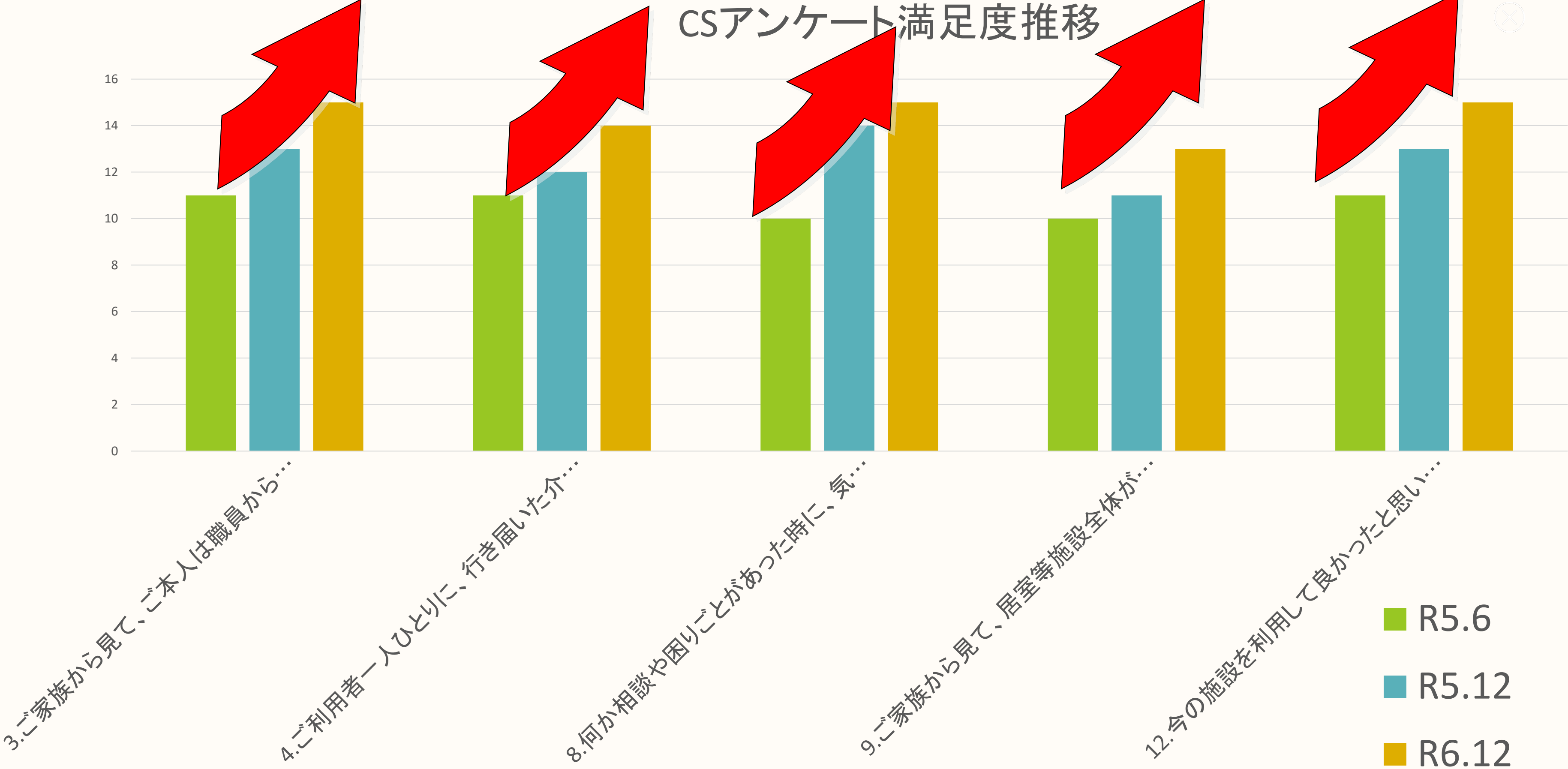
「ご利用者の笑顔が嬉しい」



「得意分野を活かした」

自発的な関わりがモチベーションに

CSアンケート満足度推移



考察



- グループの人数は、多すぎない方がいい
2～3名が理想的
- グループの中で、それぞれリーダー的存在になる職員がいた
- 興味があることに取り組むことで自発性、主体性が生まれた
- 自分で選択したことで、役割意識・責任感につながった

考察

タイプ分け「CAPS」



- リーダーがサポーター(S)タイプの場合、メンバーの意見を引き出しやすくチーム内外のコミュニケーションが自然、協力が得られやすい
- リーダーがアナライザー(A)タイプの場合
分析や検討に時間を要し、進捗が停滞しがちに
メンバーの意思疎通が重要

グループ特性への対応

タイプ分けを用いたアプローチが、課題解決に貢献

今後の展開

メンバーの主体的な活動選択と、必要最小限のサポートが、自立性を損なわずに活動を後押しした。
活動の活性化が利用者満足度向上に寄与した。

本アプローチを他部署との連携、他の活動へ展開
利用者と共に生活を創っていく 共生から「共創」を進めていきたい。

ご清聴
ありがとうございました